

問1 参勤交代に関する記述として、歴史的な事実と合致する正しいものはどれですか。（2026年 新潟公立入試 類似）

1. 武家諸法度という法令に基づいて定められ、大名は一年交代で江戸と領地を往復した。
2. 幕府からの許可があれば、妻子は領地に残り大名のみが江戸へ赴くことが原則であった。
3. すべての費用は幕府が負担したため、大名たちは豪華な行列を立てることができた。
4. 関ヶ原の戦いよりも前から、豊臣秀吉が全国の大名に対して義務づけていた制度である。

問2 1635年に江戸幕府が発令した、大名に対して毎年四月中に参勤することを命じ、領地と江戸を一年おきに往來することを制度化した法令を何といいますか。（2019年 三重公立入試 類似）

1. 武家諸法度
2. 禁中並公家諸法度
3. 公家諸法度
4. 寺院諸法度

問3 江戸時代、河村瑞賢によって整備された、北陸地方や日本海沿岸の年貢米・特産物を、下関を経由して瀬戸内海から大阪へ運んだ海上輸送の経路を何と呼びますか。（2017年 静岡公立入試 類似）

1. 西廻り航路
2. 東廻り航路
3. 南海道
4. 五街道

問4 江戸時代に発展した浮世絵やその作者について述べた説明のうち、歌川広重の活動内容や背景として最も適切なものはどれですか。（2023年 静岡公立入試 類似）

1. 化政文化の時期に、宿場町の風景などを描いた風景画で人気を博した。
2. 元禄文化の時期に、浮世絵の先駆けとなる『見返り美人図』を描いた。
3. 江戸時代初期に、町人の生活をリアルに描いた浮世草子という文芸を確立した。
4. 鎌倉時代末期に、自然への無常観を綴った随筆を執筆した。

問5 江戸時代、全国の要所や鉱山などを管理するために、江戸幕府が代官などを派遣して直接支配した領地を何と呼びますか。後世に呼ばれるようになった名称を含めて選びなさい。（2020年 神奈川公立入試 類似）

1. 幕府の直轄地（天領）
2. 藩領（はんりょう）
3. 守護領（しゅごりょう）
4. 知行地（ちぎょうち）

問6 江戸幕府が鎖国下の長崎において、中国（清）やオランダとの貿易を継続させた目的として、当時の宗教政策の観点から説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2018年 福島公立入試 類似）

1. キリスト教の布教を徹底的に排除しつつ、海外の物資や情報を管理・入手するため
2. キリスト教を日本独自の宗教と融合させ、新たな国教として普及させるため
3. 中国やオランダを通じて、東南アジア諸国へキリスト教を輸出するため
4. 鎖国によって海外との交流を完全に断絶し、日本の自給自足体制を完成させるため

問7 江戸幕府がキリスト教の禁教と対外貿易の統制を強化していく過程において、1637年に発生した島原・天草一揆は大きな転換点となりました。この一揆の鎮圧から2年後、キリスト教の布教を防ぐ目的で幕府が行った措置として、最も適切なものはどれか答えなさい。（2024年 熊本公立入試 類似）

1. ポルトガル船の来航を禁止し、鎖国の体制をほぼ完成させた
2. フランシスコ・ザビエルを追放し、キリスト教を初めて禁止した
3. アメリカのペリーによる開国要求を受け入れ、日米和親条約を結んだ
4. 朱印船貿易を奨励し、東南アジア各地に日本町を形成させた

問8 江戸時代、全国の都市や農村に広く普及し、庶民の子供たちが「読み・書き・算盤（そろばん）」といった実生活に役立つ知識を学んだ民間の教育施設を何といいますか。（2021年 奈良公立入試 類似）

1. 寺子屋
2. 藩校
3. 昌平坂学問所
4. 適塾

問9 江戸幕府が領地から集めた年貢米を米商人に売却して現金を得るといった財政構造において、享保の改革期に生じた「幕府や武士の現金収入が減少する」という問題の主な原因は何ですか。（2016年 鳥取公立入試 類似）

1. 米の増産により市場に出回る量が増えたことで、米価が下落したため
2. 貨幣の質を落としたことにより、急激なインフレーションが発生したため
3. 米商人が幕府との取引を拒否し、直接農民から米を買い叩いたため
4. 海外から安価な米が大量に輸入され、国産の年貢米が売れ残ったため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 武家諸法度という法令に基づいて定められ、大名は一年交代で江戸と領地を往復した。	この制度は徳川家光が武家諸法度（寛永令）を改正することで正式に義務づけられました。妻子は人質として常に江戸に居住させることが強制されており、移動や生活にかかる費用はすべて大名の自己負担であったため、各地の藩の財政を圧迫する要因となりました。
問2	答え 1 武家諸法度	江戸幕府が諸大名を統制するために定めた基本的な法令です。二代將軍徳川秀忠の時に初めて発令されましたが、三代將軍徳川家光による1635年（寛永）の改訂で、参勤交代が正式に義務付けられました。選択肢にある禁中並公家諸法度は天皇や公家を対象としたものであり、混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 1 西廻り航路	江戸時代中期、経済の発展に伴い大量の物資を安く運ぶ必要が生じました。河村瑞賢は、日本海側から下関を經由して瀬戸内海を通り、当時の経済の中心地であった大阪へ至る「西廻り航路」を確立しました。これにより、北日本や北陸の物資が安定して供給されるようになりました。
問4	答え 1 化政文化の時期に、宿場町の風景などを描いた風景画で人気を博した。	歌川広重が活躍したのは、江戸時代後期の化政文化の時期です。当時は街道の整備が進み、庶民の間で旅への関心が高まっていました。その社会背景の中で、広重が描いた宿場町の風景画は大きな支持を得ました。選択肢にある菱川師宣（元禄文化の浮世絵）や井原西鶴（元禄文化の文芸）、兼好法師（中世の随筆）は、いずれも広重とは異なる時代の人物です。
問5	答え 1 幕府の直轄地（天領）	江戸幕府は、全国の約4分の1にあたる領地を自らの支配下に置きました。これを「幕府の直轄地」と呼び、明治時代以降には「天領（てんりょう）」という呼称も広まりました。幕府はここに代官や郡代（ぐんだい）を派遣して統治を行い、重要な財源や交通の拠点、金銀山などを直接管理することで、幕藩体制の安定を図りました。
問6	答え 1 キリスト教の布教を徹底的に排除しつつ、海外の物資や情報を管理・入手するため	幕府はキリスト教の布教を禁じる一方で、中国の産物である生糸や、西洋の学問・技術といった有用な物資や情報を必要としていました。そこで、布教を行わないことを条件に中国やオランダとの窓口を長崎に限定し、幕府の厳格な統制のもとで貿易を継続させました。これにより、禁教と実利の確保を両立させようとしたのです。
問7	答え 1 ポルトガル船の来航を禁止し、鎖国の体制をほぼ完成させた	島原・天草一揆によりキリスト教徒の結束力に脅威を感じた江戸幕府は、禁教を徹底するため、1639年にポルトガル船の来航を禁止しました。これにより、貿易相手をオランダと中国（清）に限定し、窓口を長崎の出島などに絞る「鎖国」の体制が確立されました。選択肢にあるザビエルは戦国時代の人物、ペリーは幕末の人物であり、時代背景が異なります。
問8	答え 1 寺子屋	江戸時代には、僧侶や浪人、名主などが教える民間の教育施設が発達しました。ここでは身分を問わず庶民の子供たちが学び、当時の日本の識字率を世界的に見ても高い水準に押し上げる要因となりました。一方、藩校は諸藩が家臣の子弟を教育するために設けた施設であり、昌平坂学問所は幕府の直轄学校です。
問9	答え 1 米の増産により市場に出回る量が増えたことで、米価が下落したため	徳川吉宗は新田開発などを進めて米の増産に成功しましたが、市場に流通する米の量が増えすぎたために、米の価格（米価）が大幅に下がってしまいました。幕府や武士は年貢として得た米を売って生活資金となる現金を得ていたため、米価の下落は実質的な収入の減少を招き、財政を圧迫する要因となりました。